

10 『解剖学表』(『解体新書』の原著、  
いわゆる「ターヘルアナトミア」)  
異版の研究——第二報

石田 純郎

先に『解体新書』のオランダ語版原著 *Ontleedkundige Tafelen* (いわゆる「ターヘルアナトミア」)の原著者ダイクテンに関する論文を『日本医史学雑誌』に掲載した際に、『解体新書』のオランダ語版原書が、ドイツ語版の何年に刊行された何版からの翻訳であったのか、実証的な研究がまだないことに気付いた。その点を明確にすることを目的に、ヨーロッパの図書館に蔵されている『解剖学表(いわゆる「ターヘル・アナトミア」)』の全数調査を開始し、現在までに判明した点を述べる。いずれも貴重書につき、収蔵図書館でのみ、閲覧可能であり、〇二年夏より、三度にわたり渡欧し、オーストリア、ドイツの九図書館で二八冊を閲覧した。現在までに

調査し得た書は、左記図書館の左記の版である(ラはラテン語版、フはフランス語版、無記名はドイツ語版、特記したもの以外、一七〇〇年代)。

キール 三二ラ、五九、八九  
シュヴェリーン 二二

ロストック 二五

ヴォルフエンビュッテル 三二ラ、三四フ、四三、五九  
ゲッチンゲン 二五、三二、三二ラ、三四フ、一八一四  
ハレ 二五、四一、五九

ワイマール 三四フ、四一、八九、一八一四

イエーナ 二五、三二、三二ラ、三四フ

ウイーン 四五、五八、五九

初版である一七二二年ドイツ語版は、ドイツでは現在のところシュヴェリーンでしか見ていないが、不完全本(発行後間もなく切り取られた)である。

二五年版は四冊見たが、いずれも、大きさや構成が異なる。二二年版と二五年版は「解剖学表」としか表現しようなない体裁の本である。見開きの後に本文が、第二見開きの後に小活字で註が印刷され、図一は「人皮の

図一である。

三二年ドイツ語版、三二年ラテン語版、三四年オランダ語版、三四年フランス語版は、いずれもアムステルダムの Jansons von Waeberge 社よりの刊行で、この四版とも図版は鮮明で同一である。ある一頁に大活字の本文が示され、その下に小活字の脚註という特異な形式も共通である。また図一は二五年版とは異なり、「女執刀の図」である。

四一年ライプチヒ版、四三年アムステルダム版からは、二二年版・二五年版と同様の本文一括掲載、その後の註掲載に戻っている。

その特徴から、『解体新書』の原著である一七三四年デイクテン訳のオランダ語版の原書は、一七三二年ドイツ語版に違いない。

『解剖学表』異版の相互関係を示す

- ①群 一七二二年 ダンチツヒ・ドイツ語版（いずれも薄くて小さい）↓二五年ダンチツヒ・ドイツ語版
- ②群 A 一七三二年 アムス・ドイツ語版↓三四年 アムス・オランダ語版（デイクテン訳） B（Aより？）

一七三二年 アムス・ラテン語版↓三四年 アムス・フランス語版

この四冊はアムステルダムの同じ出版社、同じ図版、特異な形式の本文・脚注の厚冊

③群 一七四三年 アムス・ドイツ語版（三二、三四年版と同一の出版社）

④群 一七四一年 ライプチツヒ・ドイツ語版↓五九年ライプチツヒ・ドイツ語版（四二年版と全く同一）

⑤群 一七四五年 アウグスブルク・ドイツ語版（著者無許可版）↓五八年 アウグスブルク・ドイツ語版

⑥群 一七八九年 ライプチツヒ・ドイツ語版（いずれも薄い大型完全改訂版）↓一八一四年 ライプチツヒ・ドイツ語版（八九年版と見開きのみ異なる）

（新見公立短期大学）